

■中国：華北地域でEVの蓄電池を利用したアンシラリーサービス試験を実施

2020年4月17日付の現地専門紙は、華北電力市場において電気自動車（EV）の蓄電池を利用したアンシラリーサービス提供（V2G/Vehicle to Grid）の試験運用において、EV所有者に1日の充電費用の約6割が還元されていると報じた。V2Gの試験運用は、中国内最大の車両間通信ネットワーク（AI車聯網、国家電網が開発運営）によるリモート制御を活用して、専用の充電スタンドを介して実施されている。華北電力市場の管轄地域は北京市、天津市を含み、地域内のEV登録台数は約40万台、合計で180万kW分が調整電源として見込まれている。